

既存施設の取扱い（案）

—	後に検討するもの
○	現況施設をそのまま活かすもの
△	地元の意見を聞いて判断するもの
×	取り壊すもの

番号	ゾーン	施設名 (機能名)	取扱い		概要・内訳
			区分	備考	
1-1	遊びのゾーン	遊具	—		大小4基の複合遊具、スプリング1基、置物遊具1基が設置される。
1-2		こどものトイレ	—		幼児専用のトイレ棟が設置される。
1-3		こどもの城	—		木造の大型四阿が設置され、内部および外部にはベンチ、屋外卓が設置されている。
1-4		ちびっこ広場看板	—		美術館側からの出入口付近に設置される。
1-5		池・流れ	△	園内の滝、流れの取水口として機能する。	用水が引水された池・流れである。周囲には石組、紅葉などの景観木が植えられ、庭園のような設えとなっている。
1-6		庄川ウッドプラザ	○	室内遊戯空間の整備を行う。	庄川・砺波のお土産や特産品を販売する施設。定期イベントを開催するほかロードサイクルの中継ポイント「CS1」にも認定されている。
1-7		大型水車・ろくろ小屋	△	老朽化が著しい。	水車の力でろくろを廻す実演を「ろくろ小屋」で実施している。ウッドプラザの目印となっている。
1-8		池（鯉池）・流れ	△	流れや鯉等を鑑賞し、家族が楽しむ空間として残す	ウッドプラザ外周の池・流れ。鯉が飼われ、売られている餌をあげることができる。
1-9		滝	△	流れや鯉等を鑑賞し、家族が楽しむ空間として残す	ちびっこ広場側から引水される用水が滝となって落ちる。滝つぼは石組みが設置されている。
1-10		デッキ上部	△	斜面遊具に併設した階段を設置すればどうか。	ウッドプラザからちびっこ広場に接続していた（撤去済み）階段デッキの上部のみが残地されているもの。
1-11		七福神石像	—		大型水車・ろくろ小屋に隣接し設置される石像。
1-12		足湯	△	遊びのゾーン内へ残すことで良いか。（観光ゾーンへの移設検討等）	ウッドプラザデッキ前に設置されている。庄川清流温泉が入れられ、四季を眺めながら足湯体験を楽しむことができる。
1-13		四阿	—		四阿の下にはベンチが置かれ、休憩ポイントとして機能している。
1-14		ウッドプラザ看板	—		駐車場植栽帯から道路側に向けて設置される。
2-1	駐車場周辺	案内図・掲示板	—		ウッドプラザ付近駐車場内に設置される公園全体案内図および掲示板。
2-2		総合案内図・大案内図	—		階段登り口付近に設置される砺波市および周辺の総合案内図、公園全体案内図。
2-3		駐車場	○	公園全体として必要な台数（面積）について要検討	普通車、大型バスの駐車枠が設置される。
2-4		中央園路・シェルター	△	駐車場を分断するも、園路としての役割を果たしている。	道路から階段をつなぐ中央園路には上部にはシェルターに配置される。シェルターは駐車場の雨天、炎天下における待ち合わせスペースとして活用されている。
2-5		大階段	○	高台と駐車場をつなぐ動線として残す。	中央園路から上段の美術館、資料館への往来路として機能している。
2-6		トイレ棟	△	トイレ、アクセスブリッジの取扱いをどうするか。	1Fはトイレ、2Fは喫茶店、資料館側へのアクセスブリッジが設けられている。
2-7		旧ソーラーカー展示棟	×	美術品の仮置き場として機能するが、その後は解体する。	元々はソーラーカー展示のために設けられた棟で、展示が終了後は活用されていない。

番号	ゾーン	施設名 (機能名)	取扱い		概要・内訳
			区分	備考	
3-1	文化歴史交流ゾーン	松村外次郎記念庄川美術館	—	公共施設再編計画において廃止決定している。	外次郎の収蔵作品、地域作家の彫刻や絵画を展示している。 機能移転により廃止・除却を予定している。
3-2		美術館屋外展示物・記念碑	—		松村外次郎の作品である彫像などの複数の屋外展示物がある。また庄川の発展に貢献した実業家である「上田又一」の像・記念碑が立てられる。
3-3		庄川水資料館	—	公共施設再編計画において廃止決定している。	庄川の治水、利水をテーマにした常設展示や水と自然をテーマに企画展や実技講座を開催している。 廃止・除却を予定している。
3-4		資料館屋外展示物（用水石管）	△	園路沿いに残すべきか。	水の歴史を伝える金屋石で作られた用水石管が解説版とともに展示される。上部にはシェルターが設置される。
3-5		美術館・水資料館看板	—	公共施設再編計画において廃止決定している。	階段から見やすい石積上部に美術館・水資料館を示す看板が設置される。
3-6		庄川ふれあいプラザ	○	展示スペースを活用した資料展示を行う。	カウンター休憩席があるほか、展示スペース・イベントホール・会議室などを備える。東山見公民館も併設される。
3-7		水不動明王像	—		ふれあいプラザ出入口前に設置される。
3-8		人研ぎ滑り台など斜面遊具一式	×	遊びのゾーンへ遊具は集約する。	斜面地形を活用した、人研ぎコンクリートで造形された滑り台、砂場などの遊具が設置される。
4-1	花と緑のゾーン	水遊び場	×	文化歴史交流ゾーンへ新たに親水空間を整備する。	用水から引水された水を貯め、遊べる水遊び場が設置される。
4-2		園路シェルター・藤棚	△	園路にシェルターは必要か。	ふれあいプラザと特産館つなぐ園路、スロープにはにはシェルターがかけられている。一部は藤棚となっており、下部に屋外卓が設置される。
4-3		展望台	△	見晴らしが良い。	展望台として石張広場内に四阿が配置され、内部は屋外卓となっている。
4-4		浅野総一郎記念碑	—		小牧ダムの設置など地域に貢献した実業家である浅野総一郎の記念像、記念碑が設置される。
4-5		芝生広場	△	花と緑等の自然にふれあう空間とする。	水資料館と特産館の間の斜面は散策路が配され、ケヤキなどの緑陰豊かな芝生広場となっている。
4-6		流れ・滝・石組	△	花と緑等の自然にふれあう空間とする。	展望台下部からひょうたん池にかけて流れが設えられ、池には滝音が配される。周囲には石組、紅葉などの景観木が植えられ、庭園のような設えとなっている。
4-7		ひょうたん池	△	花と緑等の自然にふれあう空間とする。	池には割りばしで作られた「日本箸（橋）」が架けられるほか、松村外次郎の作品が配置され、鯉が放されている。
5-1	観光ゾーン	庄川特産館	○	改修を計画している。	伝統工芸品の「庄川挽物木地」の展示・販売・実演を行っている。また、市観光協会庄川案内所が置かれる。「木工まつり」「水まつり」「ゆずまつり」の主会場でもある。
5-2		シェルター	○	観光客の移動やイベント時に活用	特産館前からふれあいプラザ方面スロープまでをつなぐシェルターが設置される。
5-3		大噴水	△	シンボル	特産館前に設置される公園のシンボルとなっている。自然水圧により36mまで噴き上がるものだが、老朽化により噴き上げ能力は減じている。周囲は人工芝のデッキスペースとなっている。
5-4		壁泉・水盤	×	不衛生かつ公園を分断していることから廃止	ひょうたん池の水を取水源にした壁泉、水盤。中央部には松村外次郎の作品が展示されている。
5-5		階段	×	公園を分断していることから廃止し、別に動線確保	特産館とひょうたん池、芝生広場方面の高低差をつなぐ。
5-6		広場	○	特産館と機能連携する。	特産館前と大噴水間は、車両通行路、駐車スペースを兼ねたアスファルト舗装の広場空間となっている。
5-7		大案内図	—		ロータリー入口付近に設置される公園全体案内図。

※各施設の位置および写真は既存施設位置図を参照。

既存施設位置図

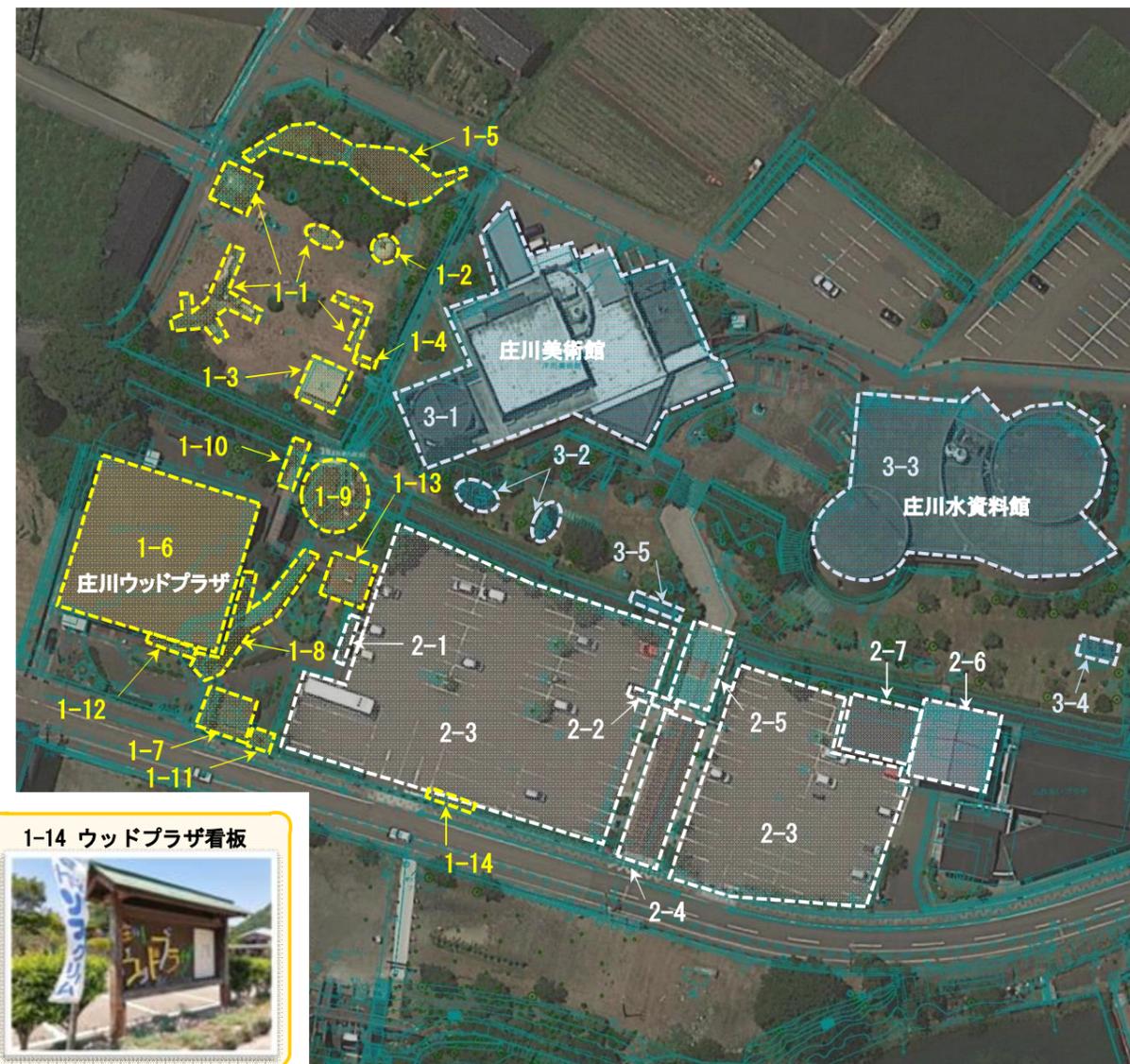
遊びのゾーン



文化・歴史交流ゾーン



遊びのゾーン



駐車場周辺



既存施設位置図-1

文化・歴史交流ゾーン

3-6 庄川ふれあいプラザ



3-7 水不動明王像



3-8 人研ぎ滑り台など
斜面遊具一式



花と緑のゾーン

4-1 水遊び場



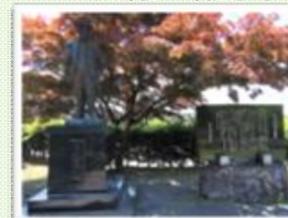
4-2 園路シェルター・藤棚



4-3 展望台



4-4 浅野総一郎記念碑



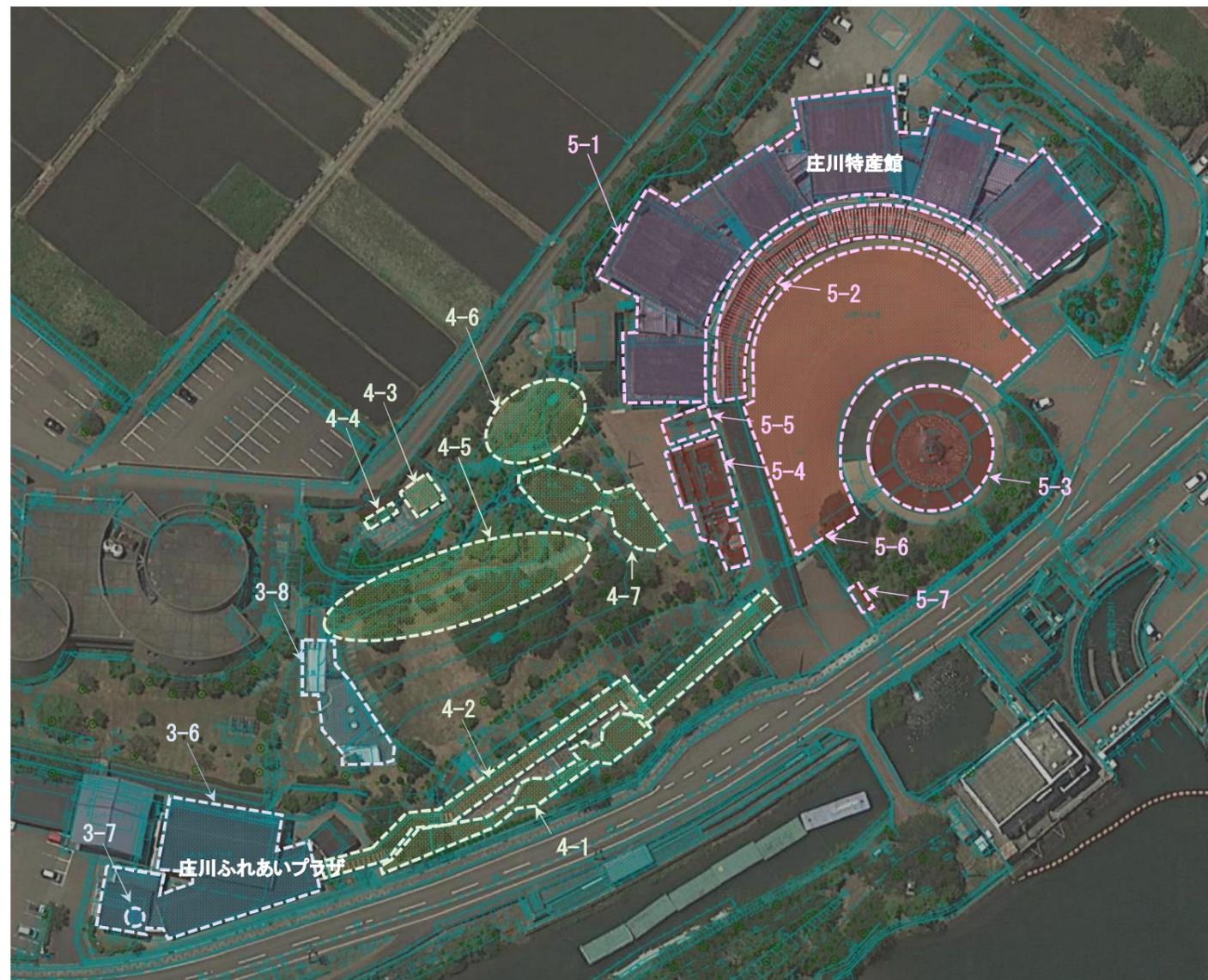
4-6 流れ・滝・石組



4-5 芝生広場



4-7 ひょうたん池



観光ゾーン

5-1 庄川特産館



5-2 シェルター



5-3 大噴水



5-4 壁泉・水盤



5-5 階段



5-6 広場



5-7 大案内図

